「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

　　　　　　　　　日時　　平成26年6月13日（金）10：45～12：35

　　　　　　　　　場所　　益田市立横田中学校

　　　　　　　　　対象　　1～3年複式学級生徒3名

　　　　　　　　　指導者　教職員　　1名

　　　　　　　　　　　　　埋蔵文化財センター職員　1名

１．主題　　　縄文・弥生人の生活を知ろう～古代食作り体験～

２．ねらい

　○自分たちの住む身近な地域の遺跡を知り、古代の人々の生活の様子に興味・関心を

持つ。

　　○古代食作りの体験を通して、古代人の食生活の様子について知り、古代人の生活への理解を深める。

３．展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時間 | 学習活動 | 指導者の支援・配慮事項 | 分担 |
| 5分  15分  10分  50分  10分  10分  5分 | 今日の学習の流れを確認しよう  自分たちの住む地域の遺跡から縄文や弥生時代の人々生活について知ろう（教室）  ・自分たちの住む地域にどれくらいの  遺跡があるか確認する。  ・遺跡が今からどれくらい前のものか  を確認する。  ・どのような食べ物を食べていたのか  を知る。  休憩  古代食作りに挑戦しよう（調理室）  　・赤米の炊飯  　・どんぐりハンバーグ作り  　・炊飯の時間を利用して火起こし  体験をする。  古代食を試食しよう（調理室）  片づけをする。  感想を発表する。（教室） | ・講師の紹介をする。  ・学習の内容やねらいを説明する。  ・指導者がパワーポイントなどの視覚的教材や写真、遺物や実物を提示することで生徒の興味・関心を高めることができるように配慮する。  エプロンを着て移動  ・古代食の炊飯方法、どんぐりハンバ  ーグのつくり方について説明する。  ・安全面、衛生面に十分配慮し活動中は適宜助言や支援を行う。 | 教科担当  職員  職員  教科担当  全員 |

※準備するもの

（学校・生徒）　　パソコン、プロジェクター、長机、調理器具、食器、食材（生もの）

　　　　　　　　　エプロン、マスク、筆記用具

（埋文センター）　食材、炊飯用土器、遺物、学習の資料、火起こしセット

アンケート用紙等